

2014くらしのサポーター通信

インターネットバンキングの不正送金に御注意！

ハイライト:

- 今月のテーマ
- インターネットバンキングの不正送金に御注意！
- 消費生活コーディネーターを募集します
- お知らせ
- くらしのコラム
ノーベル賞 ～物理学賞
に応用分野も～

1 概要

平成26年上半期のインターネットバンキングに係る不正送金の被害状況は、発生件数が1,254件、被害額は約18億5,200万円、前年同期の217件、約2億1,300万円から急増し、過去最悪となっています。

不正送金の手口は、従来の(1)フィッシングによるものに加え、(2)コンピュータ・ウイルス感染による被害が増加しています。

2 不正送金の手口

(1) フィッシング詐欺

フィッシング詐欺では、悪質業者が実在する金融機関(銀行やクレジットカード会社)を装ったメールを消費者に送り付け、メールに記載されたリンク(URL)から「見た目はそっくりだが完全に別の偽サイト」へ巧みに誘導して、IDやパスワード、暗証番号、合言葉、クレジットカード番号などの個人情報を入力させます。

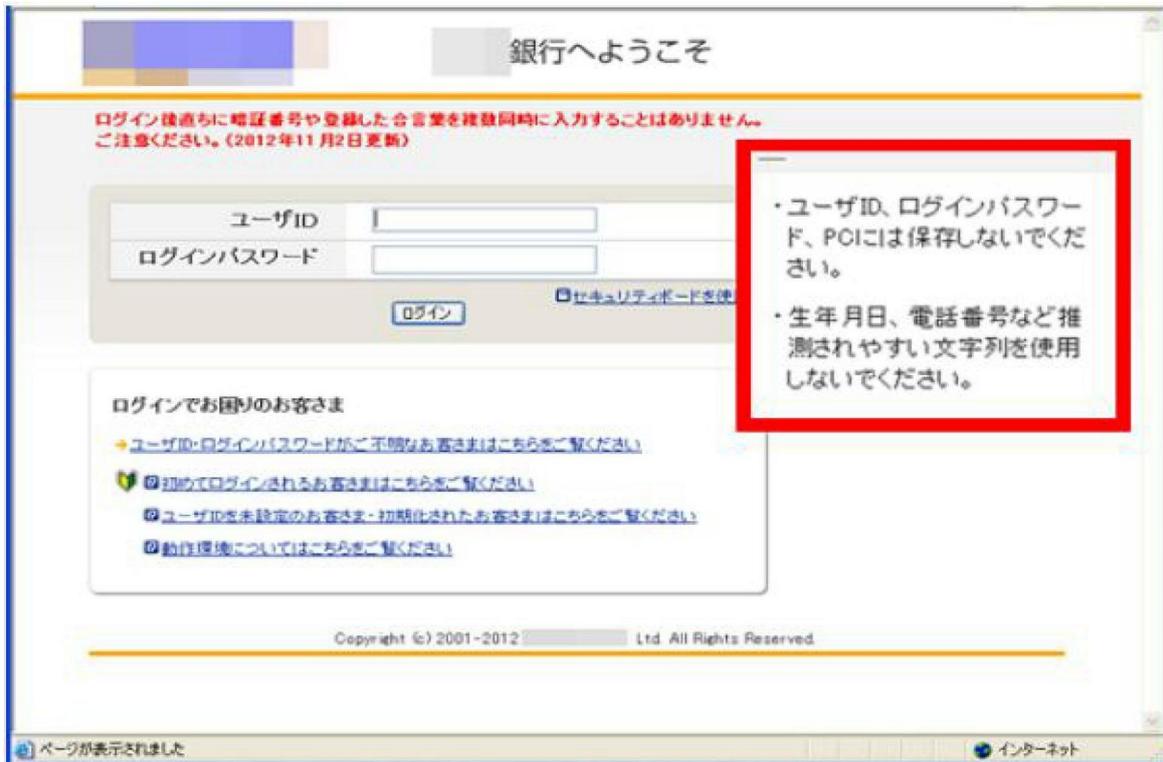
金融機関がメールでIDやパスワードを問い合わせることはありません。「セキュリティ向上のためにIDとパスワードを確認しています。こちらからご入力ください」などのメールが送られてきても無視しましょう。

(2) ウイルス感染による手口

ウイルス感染による手口では、悪質業者は、ウイルス感染したファイルを添付したメールを消費者に送り付けたり、迷惑メールやSNS上にウイルス配布サイトへのURLを記載して誘導するなどして、消費者のパソコンをウイルスに感染させます。

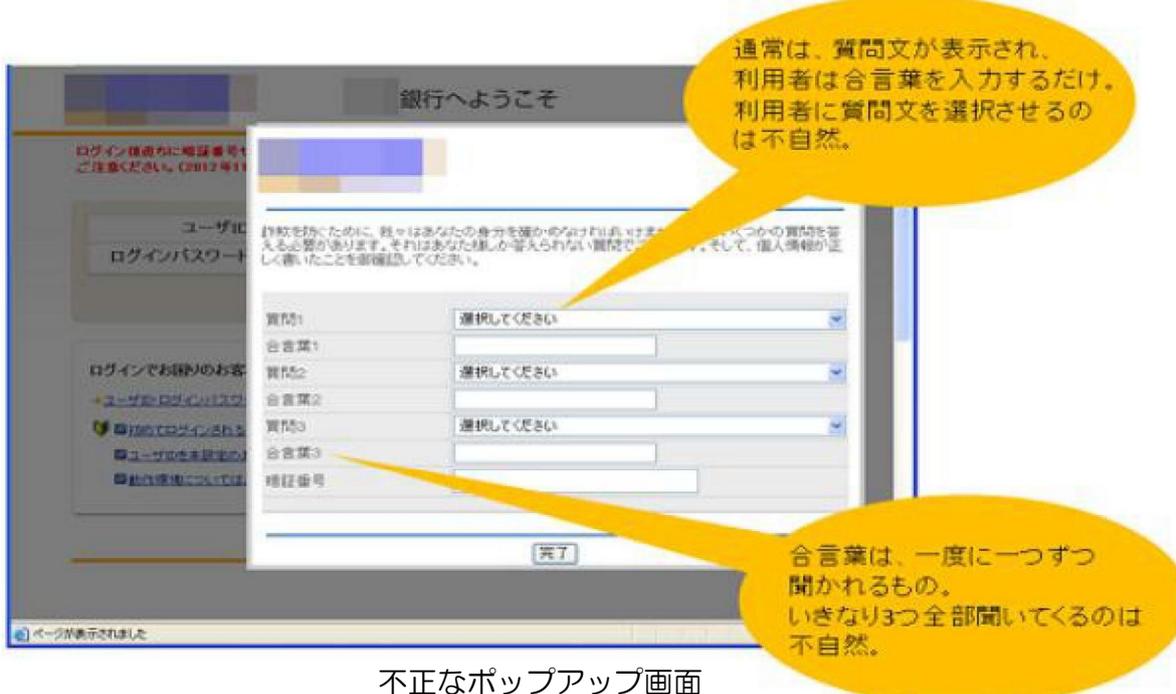
パソコンがウイルスに感染している状態でインターネットバンキングサイトにアクセスすると、通常と少し異なる画面が表示されますが、この時のURLは正規のサイトと同じであるため、URLからこれを不正なページと判断することはできません。ブックマーク等から正規のサイトにアクセスしても被害が生じうることに注意が必要です。





偽のログイン画面（一見ただけでは正規サイトと見分けがつかない）

この状態で「ユーザID」と「ログインパスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックすると、下の図のように、利用者が既に設定してある「質問」と「合言葉」の入力を要求する不正なポップアップ画面が表示されます。ここで、「質問」と「合言葉」を入力してしまうと、これらの情報が悪意ある者に窃取され、金銭被害につながります。



不正なポップアップ画面

画像は IPA（独）情報処理推進機構ホームページより

3 対策

(1) ウイルス感染を防ぐ

- ・使用しているパソコンのOSやソフトウェアを更新し、最新に保ちましょう。
- ・ウイルス対策ソフトを導入しましょう。パーソナルファイアウォールとセットになった「統合型ウイルス対策ソフト」がおすすめです。

(2) インターネットバンキング利用時の注意点

インターネットバンキングなどで金融機関が第二認証情報（合言葉、暗証番号、乱数表など）すべての入力を求めることは通常ありません。第二認証情報の入力を要求するポップアップ画面が表示された場合、ウイルス感染が疑われます。絶対に情報を入力せず、金融機関に問い合わせましょう。

(3) IDやパスワードを使い回さない

インターネットバンキングだけでなく、インターネット上の複数のサイトで同じIDやパスワードを使い回すのは大変危険です。サイトごとに異なるIDやパスワードを設定しましょう。

消費生活コーディネーターを募集します

くらしのサポーターの皆様には、日頃から行政が出す注意喚起情報を地域の方にお伝えいただくなど、御活躍いただいています。サポーター活動よりもう一步踏み込んで、「サポーター同士の活動をコーディネートし、“横のつながり”を作る」。そのような活動を通して地域の方々のくらしの安全を守る「消費生活コーディネーター」を募集します。

1 認定基準

次の(1)と(2)の両方の要件を満たす方。

- (1) 「平成25年度以降の消費者大学校大学院の卒業生」又は「くらしのサポーター」
- (2) 一般財団法人日本消費者協会の消費者力検定の応用コース（平成24年度までは一般コース）1級の認定を受けている者、消費生活専門相談員、消費生活アドバイザー又は消費生活コンサルタント

2 認定等

(1) 認定期間

認定日から2年間。ただし、満了日までに所定の申請書による再認定の申請があった場合は再度2年間認定。以後も同様です。

(2) 活動に対する県の支援

啓発等の活動に必要な資料の提供、講演会の講師としてのあっせん等、コーディネーター活動を円滑に行うために必要な支援を行います。

3 募集期間 **平成26年12月12日（金）から平成27年1月9日（金）まで**

徳島県消費者情報センター

〒770-0851

徳島市徳島町城内2番地1

とくぎんトモニプラザ 5階

・相談電話 088-623-0110

・啓発受付 088-625-8285

・事務担当 088-623-0612

・ファクシミリ 088-623-0174

電子メール

t-shouhi@mail.pref.tokushima.lg.jp

ホームページ

<http://www.pref.tokushima.jp/shohi/>

くらしのサポーター通信はこちら

<http://www.pref.tokushima.jp/shohi/supportthp/>



ゆるキャラグランプリ2014の
応援ありがとうございました！

お知らせ

くらしのサポーター研修会を開催します

次のとおり、県内3か所で研修会を開催しますので、ふるってご参加ください。

1 開催日時及び場所

① 県南部

平成26年12月8日(月) 14:00~16:00

南部総合県民局阿南庁舎2階 中会議室

② 県西部

平成26年12月9日(火) 9:30~11:30

西部総合県民局美馬庁舎2階 大会議室

③ 県央部

平成26年12月9日(火) 14:00~16:00

徳島県徳島合同庁舎東会議棟2階 A会議室

2 内容

「誰でもできる効果的な啓発方法」(班別研修)

3 講師

適格消費者団体 特定非営利活動法人 ひょうご消費者ネット
理事の大森 節子氏(消費生活専門相談員)、酒井 富美子氏(消費生活アドバイザー)

4 申し込み方法

12月1日(月)までに、希望会場を明示の上、左記の電話、ファクシミリ又はメールアドレスにお申し込みください。

くらしのコラム

ノーベル賞 ～物理学賞に応用分野も～

ノーベル賞を徳島県に縁のある人が受賞したことは、とてもうれしいことであった。中でも旧帝国大学でない地方の大学卒業者であったことも、新しい歴史の一步に違いない。

私は、ちょっと違和感を覚えることがある。いわゆる商業ベースに乗る研究は、マーケットの評価で十分報われる。ノーベル物理学賞は、儲けとかかわらない分野の評価でもあったと思うからだ。

文学賞に選ばれた人も、日本の有力と言われた人も、本がよく売れた人、俗な表現ではベストセラー作家である。すでに市場の評価を金銭的に受けた人たちであった。

基礎のすぐには役に立たない研究者の励みはあったのでは？

くらしのサポーター 三原茂雄



くらしのサポーター担当者より
警察庁によると、今年9月月末までの特殊詐欺の被害額は約404億円で、年間の被害額が489億円で過去最悪だった昨年同時期よりも61億円余り多く、年間の被害額が500億円を超えるおそれがあります。

「オレオレ詐欺」の被害が125億円と最も多く、続く「架空請求」の被害が111億円と昨年の2.7倍に急増しています。詐欺被害撲滅のため、今後も皆様のお力をお貸しください。